# 新潟県立万代島美術館ニュース

# 2014年度の企画展 今年度も多彩な展覧会を企画しています。是非ご来館ください。

3.15 (土) — 5.6 (火・休)

# → 梅佳代展 UMEKAYO

なにげない日常に潜む様々な光景を独自の視点から切り取る写真家・梅佳代(1981~)。いま若手写真家の中で最も熱く幅広い視線を浴びています。本展では、彼女の活動の根幹ともいえるスナップ写真による「シャッターチャンス」シリーズ、身近な他者との関係性を軸に展開する「男子」「じいちゃんさま」シリーズなどに、未発表作品を交えて大胆に再構成します。



梅佳代《うめめ》より 2004年 © KAYO UME

#### N先教下面を文人で入

#### 7.4 (金) — 8.31 (日)

## → 新潟が生んだジブリの動画家 近藤喜文展



《「耳をすませば」背景画およびセル原画》1995年

近藤喜文 (1950-98) は、 新潟県五泉市に生まれ育った 日本屈指のアニメーターで、 スタジオジブリの高畑勲・宮 崎駿両監督から厚く信頼を寄 せられていました。唯一の長 編監督作品『耳をすませば』 (1995) で大成功を収めます

が、その後しばらくして急逝し、多くの人々からその才能を惜しまれました。本 展では、スタジオジブリの協力のもとで、彼の描いたキャラクター・デザインや アニメーション原画、イメージボード、スケッチなどを多数展示し、清潔な人柄 と暖かな眼差しから生まれた近藤喜文の世界を紹介します。

#### $5.17(\pm) - 6.22(\Box)$

#### → 国立国際美術館コレクション 美術の冒険 セザンヌ、ピカソから草間彌生、奈良美智まで

大々の生活において、美術はどんな役割を果たしているのでしょうか? ひとつの答えとして、美術の力とは、日常の世界から我々を引き離し、かつて見たこともないような、思いも寄らなかったような世界へと我々をいざなうところにあるのではないでしょうか。このたびは、大阪の国立国際美術館のコレクションの中から、こうした美術の力を感じさせる作品を選りすぐり、東日本では初めて大々的に公開します。このたびの展覧会が、あなたと美術との新たな出会いの場となり、その結果あなたの心と魂がより自由になる、そんな機会となることを祈っています。



奈良美智《長い長い長い夜》1995年

# 9.13 (土) — 11.3 (月・祝)

# → 伊藤若洋と常の美術

京都市に位置する細見美術館は、大阪の実業家・故細見 度氏(初代古香庵、1901-79)に始まる細見家三代のコレクションをもとに1998年に開館しました。日本美術の各時代・各分野を網羅するコレクションは、時に「日本美術の教科書」とも言われます。本展はその中から、江戸時代に活躍した画家・伊藤若冲の作品をまとめて展示するほか、祭礼図や物語絵、蒔絵、茶陶、茶の湯釜などを厳選し、日本美術の多彩な魅力をご紹介します。



伊藤若冲《雪中雄鶏図》江戸中期



ペル・ウロフ・ヤンソン トーベ・ヤンソンの写真 Photo: Per Olov Jansson ©Tove Jansson

# 2015.2.28 (土) — 5.6 (水・休) (予定)

# → 生誕100周年 トーベ・ヤンソン展 - ムーミンと生きる

世界中で愛され続ける「ムーミン」シリーズを生んだフィンランドの作家、トーベ・ヤンソン (1914-2001) の大規模な回顧展を開催します。代表作である「ムーミン」シリーズの原画はもちろん、初期の風刺画や物語の挿絵(ドローイング)、また生涯描き続けた油彩など、芸術家としての全仕事をで覧いただきます。また、作家がフィンランド湾の孤島・クルーヴ島に建てた「夏の家」の実寸大再現モデルの出品など、そのライフスタイルにも焦点を当て、ヤンソンの創作の全貌をご紹介します。



トーペ・ヤンソン 《『ムーミン谷の夏まつり』のためのイラスト》 1954年(タンペレ市立美術館 ムーミン谷博物館) ©Moomin Characters™

# 

2014.11.22 (土) — 2015.2.11 (水・祝)

# → 昭和追想 ─美術でたどる時代の風景

プピ号が昭和から平成にかわり、すでに四半世紀が過ぎました。昭和の64年間は、近代大衆文化の誕生、日中戦争から太平洋戦争、連合国軍による占領や廃墟からの復興、高度経済成長時代からバブル経済と、まさに激動の時代でした。本展では、昭和時代の社会や世相を反映している作品を、当館の所蔵品を中心に出品します。平成生まれには新鮮な、昭和生まれには懐かしい展覧会となることでしょう。

佐藤哲三《稲一農林1号》1941年



万代島美術館の所蔵品展と 近代美術館のコレクション展に 来場された方にスタンプカードを 発行し、来場1回につき スタンプを1つ押印します。 スタンプを4つ集めた方には 粗品を進呈いたします。 どうぞご参加ください。

# 新潟が生んだジブリの動画家 近藤喜文展

#### 7月4日(金) — 8月31日(日)

の展覧会の実現には、地元新潟で近藤さんを紹介したいと思う 関係各位の熱い気持ちが原動力となりました。スタジオジブリ の皆様の協力は言うまでもありません。段ボール箱 20 箱以上も残されている関連資料の中から展示候補を選び出す事前作業を行っていただき、その後、関係者が集まり、抽出された候補作を1点1点拝見して決めていきました。優に数日かかりました。現存しないものも含めれば、近藤さんは一体どのくらいの絵を描いたのでしょうか。

アニメーション制作現場では、時間に追われながら膨大な量の仕事をこなさなければなりません。そうした苛酷な状況の中で描かれたはずなのに、近藤さん直筆の資料はどれもが溌剌と、そして生き生きとしています。簡潔な線でキャラクターたちを新たに創造し、微妙な表情を付け、自由自在に演技をさせています。見事なものです。

今回展示紹介するものは、アニメーション制作に関わる様々な段階のものが含まれています。新潟が生んだ一人の偉大なアニメーターの仕事を通して、制作現場の雰囲気を十二分に感じ取ることができるでしょう。また、展示にも工夫を凝らしているので、どなたが見ても楽しめるものになるはずです。新潟だけの独自企画にぜひご期待ください。 桐原浩(業務課長)



《「火垂るの墓」 イメージボード》 1988 年 © 野坂昭如/新潮社,1988



《「魔女の宅急便」イメージボード》 1989 年



《「赤毛のアン」 LD ボックス用イラスト》 1979 年 © NIPPON ANIMATION CO., LTD.

飯島沙耶子 (美術学芸員)

# 伊藤若冲と京の美術

ー細見コレクションの精華

9月13日(土) - 11月3日(月・祝)

#### 若冲が万代島美術館にやってくる!



伊藤若冲《糸瓜群中図》汀戸中期



伊藤若冲《鼠婚礼図》江戸中期



重要文化財《芦屋霰地楓鹿図真形釜》 室町時代(展示替えを行います)

本市・岡崎にたたずむ細見美術館は、一見、古美術の美術館に は見えない斬新な建物で、おしゃれなミュージアムショップ やレストランも併設され、日本美術ファンであれば必見の美術館で す。毛織物業を手がけた大阪の実業家・細見し、氏(1901 – 79)と、 にまますの。 細見實氏(1922 – 2006)、細見良行氏(1954 –)が、3代にわたって築いたコレクションがもとになっており、日本美術のあらゆる時代 と分野を網羅した優品により、日本美術の豊かな流れがたどれます。

細見コレクションの魅力が凝縮された本展では、平安時代以来、長らく日本の文化の中心であった京都にまつわる美術をご紹介します。中でも、伊藤若冲 (1716~1800)を中心とした近世の京都で活躍した画家たちの作品は目玉の一つです。若冲の代名詞とも言うべき鶏を描いた《雪中雄鶏図》(図版 1 頁)は、30 代前半頃の、現存作では最初期の作品です。《糸瓜群虫図》は30 代後半頃の作で、糸瓜に群がる虫たちの繊細な描写には目を見張ります。晩年の《鼠婚礼図》は擬人化された鼠たちがユーモラスに描かれ、思わず笑みがこぼれます。

その他にも、源氏物語や伊勢物語などを題材にした物語絵や、祭礼や遊楽の様子を描いた屏風絵、茶陶や茶の湯釜など、盛りだくさんの内容で、京都で育まれてきた美意識に触れていただきます。また、《芦屋霰地楓鹿図真形釜》《山王霊験記絵巻》など重要文化財3点も出品予定です(途中展示替えを行います)。是非この機会に細

見コレクションをご堪能ください。

#### EVENT PICK UP イベントピックアップ

「ミュシャ財団秘蔵 ミュシャ展」

#### ミュージアム・コンサート 「パリとチェコの調べ」

ミュシャ展の開催を記念して、新潟市 ジュニア合唱団によるミュージアム・ コンサート「パリとチェコの調べ」を 開催しました。フランス歌曲の他、ミュ シャの故郷チェコにちなみ、チェコ民 謡「おお牧場はみどり」や「モルダウ の流れ」を歌いました。



#### 「京都 清水寺展」

#### 森貫主記念講演会 『清水寺展』出開帳について」

毎年 12 月に今年を象徴する漢字を揮 毫することでも有名な清水寺貫主の 森清範氏を講師に迎え、出開帳や仏 教思想についてお話いただきました。 講演会の冒頭に壇上で揮毫していた だいた書は、展覧会会期中ロビーに 展示しました。



#### 開館 10 周年記念

#### 無料開館日

昨年度、万代島美術館が開館 10 周年を迎えたことを記念し、11 月 3 日 (日・文化の日)の観覧料を無料にしました。 当日は 519 名ものお客様が来館され、 開催中の所蔵品展「新潟の日本画 100 年」をご覧くださいました。



#### 「篠山紀信展 写真力」

#### アーティスト・トーク

有名な写真家本人から自作の解説を聞くことができる絶好の機会でもあり、会場には多くの方が集まりました。 ユーモアを交えながら、撮影時のエピソードや写真に対する向き合い方等々の興味深い話題が次々に披露され、皆様大満足でした。



# 展覧会の裏側をお見せします!

「京都 清水寺展」のウラ側



重要文化財の3体を含む、19体の仏像を展示した「京都清水寺展」。当館でもこれほどたくさんの仏像を展示したのは初めてのことです。お客様からは「どうやって運んだのですか?」との質問を多く受けました。重要文化財の奥の院の御本尊・三面千手観世音菩薩坐像は、ご本体・光背・台座の3つの部分に分けて、それぞれ丁寧に薄葉紙で梱包します。像には42本の腕があり、繊細なつくりなので、梱包には神経を使います。梱包する前には、傷がないか、ぐらついたりしないかなど、仏像の状態を学芸員が確認します。梱包後は、それぞれ専用にしつらえた箱に納めたうえで、空調の管理ができ、振動の少ない美術品専用のトラックに載せ、京都から新潟まで慎重に運びます。今回は美術品輸送のプロである日本通運の京都のスタッフが中心となり、豊富な経験と確かな技術で、輸送から展示・撤収まで一貫して作業を行いました。無事に展示できたとき、そして展覧会が終了して、清水寺に無事にお返しできた時にはほっとしました。

飯島沙耶子(美術学芸員)

### 展覧会ポスターのデザインにも注目!

一昨年に当館で開催された「ジパング展」のポスターを覚えていらっしゃいますか?大きな「ジ」の文字が目をひいたこのポスターは、新潟市のデザイン事務所「デザインデザイン」の白井剛暁さんにデザインしていただいたものです。実は、A4 サイズのチラシには「パ」、はがき大のチラシには「ン」、そしてチケットには「グ」の文字がそれぞれ大きくレイアウトされ、全て集めると「ジパング」という言葉になるという仕掛けがありました。思わず「何だろう??」と興味を惹かれた方も多かったのではないかと思います。

展覧会のイメージを左右するといっても過言ではないポスターやチラシの制作は、担当学芸員にとって頭を悩ます仕事の一つですが、幸いなことに、近年は、新潟で活躍するデザイナーの方々の力をお借りできる機会が増えてきています。それぞれのポスターが、美術ファンはもちろん、美術に縁遠い方にも興味をもっていただけるようなデザインに仕上がりました。展覧会のポスター、今後も是非注目してください。

今井有 (主任学芸員)



「ジパング展」 デザイン:白井剛暁氏 「デザインデザイン]



「巨匠たちの英国水彩画展」 デザイン: 近藤裕氏 [ ㈱アドハウスパブリック]



「ひとの姿 人のかたち」 デザイン:石川経治氏 [石川デザイン]



「京都 清水寺展」 デザイン:近藤裕氏 [ ㈱アドハウスパブリック ]



「新潟の日本画 100 年」 デザイン:涌井明人氏 [ライト]

# テムジェンと名は アーティストとしての意によって表現に何いたていた

#### 本をご紹介します

# **BOOK**

#### 『私の愛、ナムジュン・パイク』

このたび、『私の愛、ナムジュン・パイク』(久保田成子・南禎鎬共著)の日本語訳を出しました(2013年11月、平凡社刊)。こ の本は、韓国・中央日報の南禎鎬記者が、パイク未亡人で新潟・巻出身の映像作家・久保田成子さんへの取材をもとに構成したもの です。世界的な芸術家であるパイクは、河原温や靉嘔、草間彌生ら美術家はもちろん、音楽家の坂本龍一さんや服飾デザイナーの三 宅一生さんとの交遊でも知られ、2006年にパイクが亡くなった際には、坂本さんがその追悼曲を作曲しています。

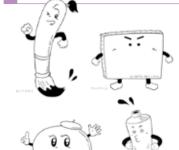
そもそもこの本を訳す契機となったのは、同僚である濱田真由美学芸員からの相談でした。濱田学芸員は2011年の秋、久保田成 子展の事前調査のためにニューヨークに赴き、そこで久保田さんから本書の韓国語版を手渡されたのですが、大まかな内容を知りた い、できれば日本語版が出せないかというのが、その相談でした。結局、平凡社からの出版が決まり、装丁は亀倉雄策賞受賞デザイ

ナーで新潟市美術館のロゴも手がけられた服部一成さん、解説は映像作家の飯村隆彦さん、帯の推薦文はオノ・ヨーコさんが担当されました。

本が出版されると、新潟市の北書店さんが記念イベントを開催して下さり、パイクの助手もされていた映像作家の吉原悠博さんからは貴重なお話をたくさん聴かせ ていただきました。また、新潟日報の社会面や一面コラム「日報抄」でも取り上げられ、森美術館の南條史生館長、「ネオテニー」展でもお世話になった内田真由美さ ん、熊本市現代美術館の桜井武館長、アライ=ヒロユキさん、近藤亮介さん、そして伊村靖子さんも素敵な書評を書いて下さいました。

現代アートに関する本は難解なものというイメージがありますが、この本はまったくそんなことありません。次から次へと面白いエピソードが出てくるので、一気に 読めてしまいます。書店で、図書館で、ぜひとも手に取ってみて下さいね。 高晟埈 (主任学芸員)

#### NIIGATA アートリンク



新潟のアートシーンをもっと面白く、もっと元気 にすることを目的に2012年度からスタートした 「NIIGATA アートリンク」。新潟県立近代美術 館・万代島美術館と新潟市美術館、そして2013年 度から新たに加わった新潟市新津美術館の4館で スタンプラリーを開催し、4館で展覧会を見てス タンプを全部集めた方に景品をお渡ししました。 2014年度もスタンプラリーの開催が決定!各館多 彩な展覧会をご用意して皆様のお越しをお待ちし ております!

#### サポートメンバーを募集しています。

万代島美術館では、皆さんに美術館により親しんでいただくために、 サポートメンバー (ボランティア) を募集しています。内容は、美術 館および展覧会のイベントへの協力と、当館の活動や展覧会準備の補 助です。活動をご希望の方は、お電話にてお問い合わせ下さい。

**TEL**: 025-290-6655

# 近代美術館(長岡市)の企画展

#### 【開館時間】

午前9時~午後5時 (観覧券販売は午後4時30分まで)

#### 【休館日】

月曜(ただし月曜が祝日の場合は開館し、翌日休館)、 年末年始、展示替期間。

※11/25(火)~12/27(土)は、 館内改修工事のため休館。

#### 【お問い合わせ先】

〒940-2083 新潟県長岡市千秋 3 丁目 278-14

TEL: 0258-28-4111(代表) http://www.lalanet.gr.jp/kinbi/

生誕120年 岩田正巳展 -新興大和絵、その清澄なる世界-	3.1(±)-4.13(⊟)
生誕120年 宮芳平展 野の花として生くる。	<b>4.26</b> (±)− <b>6.1</b> (⊟)
法隆寺 祈りとかたち	7.5(±)-8.17(⊟)
黒井健 絵本原画の世界展	9.12(金)-11.3(月・祝)
コレクション・ストーリーズ -11年の物語	2015.2.3(火)-4.5(日)

# 新潟県立万代島美術館

The Niigata Bandaijima Art Museum

〒950-0078

新潟市中央区万代島5-1 朱鷺メッセ内 万代島ビル5階

URL: http://banbi.pref.niigata.lg.jp/ 開館時間 午前10時~午後6時

(観覧券販売は午後5時30分まで)

展示替期間、年末年始(12/28~1/3)

#### **How to Access**



同じ建物です)の5階にあります。

#### 新潟駅から ●/バ .....約15分

(万代ロバス乗場 5 番線より 「佐渡 汽船」 行あるいは 13 番線より 「新潟 市観光循環バス」に乗車。「朱鷺メッ

●タクシー ……… 約8分 歩 ……… 約25分

新潟空港から ……… 約20分

#### 自動車(有料駐車場有り)

●高速道路

新潟県立万代島美術館は、新潟市を貫く信濃川の河口にある

複合施設 「朱鷺メッセ」の中、万代島ビル (ホテル日航新潟と

『同胚担始 高速道路、北陸道(新潟西 I.C.)・磐越道(新 潟中央 I.C.)・日東道(新潟亀田 I.C.) から 一般道へ。新潟パイパス、亀田パイパスを 紫竹山 I.C. で下り、栗ノ木パイパスを新潟

信濃川ウォーターシャトル(水上バス)

●新潟ふるさと村から ……… 約50分 ●新潟市歴史博物館から …… 約5分

※展覧会によって異なりますので、 展覧会ごとにご確認ください。

休 館 日 月曜日(展覧会により月曜開館あり)

観 覧 料 新潟県内の高等学校・特別支援学校が、教育活動と 除 して美術館に団体引率をする場合、所定の用紙で事 前(見学の1週間前)に申請をすることにより、観覧 料が免除されます。美術の授業、社会科見学、遠足な どさまざまな形でご利用いただけます。

TEL: 025-290-6655 FAX: 025-249-7577